

特集

Special feature

川上から川下まで。

サプライチェーン全体のサステナブル化を実現

blue chain™

リサイクルポリエステル糸ECO BLUE®を中心とした、
蝶理のサステナビリティ実現への取り組みを、ご紹介します。

BLUE CHAIN®とは

アパレル産業が抱える問題を解決するために

近年、各産業界で注視されている環境破壊の問題は、アパレル産業においても非常に大きな課題です。流行と消費者のニーズに応え、新しい衣服を生み出すために、膨大な温室効果ガスを排出し、大量の水も消費しています。また、売れ残った衣類が未使用のまま大量に廃棄されているのも事実です。このような問題に対し、蝶理はBLUE CHAIN®の取り組みを始めました。長く複雑な繊維業界を線で繋げ、各企業が持つ機能を掛け合わせ、環境負荷の少ない商材を生み出していきます。多くの企業と協業し、スケールメリットのある事業を行うことで、脱炭素対応にかかるコストを低減します。BLUE CHAIN®は、パートナー企業とともに業界の変革に貢献します。

BLUE CHAIN®で取り扱う
蝶理の独自商材



ECO BLUE®
回収されたペットボトルを使用した
リサイクルポリエステル糸



TEXBRID®
耐久性に優れており、
長く着用できるストレッチ素材



MILLENNIUM ORGANIC®
原綿そのものの白度が高く、
通常染色時に使われる塩素漂白剤や
余分な還元剤が不要



MEDITERRANEAN GIZA®
点滴灌漑システムを広く使い、
栽培時の水使用量を30~50%まで削減。
また100%リサイクルウォーターを使用



ナチュラルダイ®
化学染料と比べて環境負荷が少ない、
草花や食品残渣を染料として使用



ECO BLUE®



Natural Dye®



Cotton

Special feature

リサイクルポリエステル糸 ECO BLUE®

01

蝶理は多様な環境配慮型商材を取り扱っています。その中でも中心となる商材がECO BLUE®です。同商材は、廃棄されたペットボトルを原料とするリサイクルポリエステル糸であり、2007年に事業を開始し、15年の歴史の中で進化し続けています。従来の糸から製品までを手掛けるサプライチェーンに加えてリサイクルペレットを製造するウツミリサイクルシステムズ(株)と協働することで、2019年からはリサイクルのさらに川上となるペレット事業に参入し、蝶理自社のリサイクル設備を保有しています。

また近年、リサイクルポリエステル糸は他社においても取り扱いが増加していますが、ECO BLUE®は世界の主力合繊メーカーとの強固なパートナー関係を活かした200種類以上の糸種の取り扱いが可能であることが強みです。年間約5.2億本のペットボトルを再生し、原料ペレットや糸に生まれ変わらせています。北陸産地を中心とした加工場と連携し、糸の高次加工を行い、さらなる価値向上を図ります。



リサイクルペレット製造の押出機



※ 当社試算

パートナー企業との協働により速染糸を開発

02

パートナー企業の商材とECO BLUE®とを掛け合わせる取り組みも拡大しています。2021年、石川県に本社を置く化学素材メーカーである小松マテーレ(株)と共同で、速染糸WS™を開発しました。

WS™は、特殊な糸と加工技術で、染色の必要エネルギーや使用染料を大幅に削減することを可能にした環境配慮型素材です。通常の糸は高分子が動きにくく、染料が入り込みにくい結晶領域が多いため、高温で染色する必要があります。一方、WS™は、この結晶領域を通常の3分の1以下に削減し、高分子を動きやすく改良したため、染料が入り込みやすいことが特徴です。そのため、通常よりも低温で染め上げることが可能であり、染色時間も通常の約50%短縮できます。これにより、生地染色時のCO₂排出量を従来比31.7%削減することに成功しました。

世界的に見ると、繊維のリサイクルは当たり前となってきていますが、製造段階で温室効果ガス排出量を削減できる同素材は国内外で関心が高く、国内外スポーツウェア・カジュアルウェア・ユニフォーム向けに販売が拡大しています。



今後に向けて

03

ECO BLUE®をはじめとしたリサイクル原料は、既にスポーツ向けを中心に導入されており、2021年度の環境商材の売上は約100億円まで伸長しました。新たな取

り組みとして、自社で回収したペットボトルを企業向けオリジナルユニフォームに再利用する仕組みの提案や、工場が発生する繊維くずを使用した水害防止のための河川敷用マット、電気自動車の吸音マットの開発も推進しています。今後は日本国内だけでなく、欧州のスポーツ・アウトドア、中高級パ

レル向けをターゲットとして、海外での展開も拡大していき、2022年度の売上高は135億円、その後はさらに加速させ、300億円を目指しています。

繊維事業を祖業とする蝶理にとって、繊維業界が抱える課題に取り組み、サプライチェーン全体でサステナビリティを実現することは責務です。「点」でのサステナビリティの取り組みも大切ですが、それだけでは真のサステナビリティは実現しません。蝶理は、創業160年以上の歴史に培われたパートナー企業との強固な関係を活かしながら、「点」の取り組みを「線」で繋ぎ、ロスや環境負荷が多いとされている繊維業界において、未来に繋がる環境配慮型商材を開発・提供していきます。



第9回 FaW TOKYO
ファッションワールド東京
(2022年4月6-8日)に出展



2022年4月6～8日、東京ビッグサイトで行われた、約360社が出展する日本最大のファッション商談展に出展しました。サステナブルファッションEXPO、ジャパンファッションEXPOなど6つのテーマから構成されており、当社グループは2021年10月に続いている出展となりました。BLUE CHAIN®、ECO BLUE®のリニューアルロゴを初披露したブースも、同コンセプトを説明した基調講演も盛況となりました。